

PPS001-P08

会場:コンベンションホール

時間: 5月23日17:15-18:45

Pavonis Mons山頂の不思議な風成痕-分布と時間変化-

Distribution and time-variation of specific dark wind streaks at Pavonis Mons

豊田 丈典^{1*}, アイメリック スピガ², 栗田 敬¹

Takenori Toyota^{1*}, Aymeric Spiga², Kei Kurita¹

¹東京大学地震研究所, ²オープン大学

¹Earthquake Research Institute, ²Open University

火星のPavonis Mons山頂に存在するアルベドの低い風成痕の「分布」と「時間変化」について報告する。

我々がSpire Streakと呼んでいるこの風成痕の形態的特徴を、Mars Reconnaissance Orbiter等の探査機が取得したデータを用いて調査した。その結果、従来の風成痕形成モデルではSpire Streakの成因を説明できないことがわかった。

本発表では、Spire Streakの「分布」と「時間変化」に加えて、GCMによって求めた地表付近の風速・風向との比較考察を行う。

キーワード:火星,風成痕,地表と大気の相互作用

Keywords: Mars, wind streak, surface-atmosphere interaction